

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、大平台圏域） 第1回会議 議事録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和2年6月25日（木）13時30分から15時まで |
| 参加者 | 委員：11人 事務局：2人 その他：11人（高齢者福祉課：2人、介護保険課：1人、障害保健福祉課：1人、西区長寿保険課：3人、包括支援センター：2人、市社協地域支援課：2人） |
| 場所 | 篠原協働センター 201会議室 |
| 内容 | <p>1. 開会</p> <p>2. 委員、関係者自己紹介</p> <p>3. 会長の選任 会長退任に伴い会長選任について事務局より説明</p> <p>4. 協議体会議の振り返り 昨年度の会議内容について説明</p> <p>5. 意見交換</p> <p><u>テーマ ①各地区における地域福祉活動の近況と今年度の見通しについて</u> 地区社協の実施する事業やサロン等の実施状況報告</p> <p>➡サロンや事業の再開時期について検討。7月からサロン再開多い。 入野地区サロン 住民主体型サービス補助金の申請を中止</p> <p><u>テーマ ②地域包括支援センター、市社協、行政に寄せられる相談について</u> コロナ自粛期間中の各機関への相談内容について共有。</p> <p>➡自粛期間中の不安等に関する相談は増加傾向となった</p> <p>6. 西区における事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠原地区健康麻雀サロン 令和2年6月16日開所 地域の中で男女問わず参加できるサロンを作る事を目的に開所 <p>7. 他市町の自粛中における取り組み事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が孤独や不安に苛られないように工夫した安否情報等の活動を紹介 ・神久呂地区にて作成した「なんでも相談ステッカー」紹介 ・商店で行っている配食サービスの事例紹介 <p>8. <u>テーマ③自粛生活の中でみえてきたことについて</u> 民生委員、自治会より毎日の生活の中で気がついたことについて意見交換を行う</p> <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員はその時々合ったチラシを高齢者世帯のお宅にポストインし、見守り活動を行った。 ・訪問できない期間は洗濯物が干してある確認の見守りを行った。 ・趣味や楽しみ、仕事や畑仕事等がある事の重要性理解と、今度の地域活動における新たな仕掛けづくりの可能性が広がる。 |

| | |
|----------------|--|
| | <p>9. 意見まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新しい生活様式を理解し、地域活動の新たな方法を探る。 ②事業や活動の必要性について見直しを行う。 ③ポスティング活動等地域で見守り体制への取り組み ④仕事や農業、趣味などの生きがいの場づくりの必要性としかけづくり <p>10. 連絡事項</p> <p style="padding-left: 40px;">次回協議体会議開催次期 令和2年9月末～10月初旬頃予定</p> <p>11. 閉会</p> |
| <p>今後の見通し等</p> | <p>第1回目の協議体会議はコロナ禍の中の地域活動や、気づいた事等をテーマとした意見交換を実施。第2回目より昨年度の協議事項や課題について地区ごとに検討を進める会となるよう支援を行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の可能性を含めた、社会福祉法人や企業、NPO等に対する協議体への参画への呼びかけ活動について検討・実施したい。 ・各地区の活動検討（新しい生活様式を取り入れた地域活動の検討）を継続し行う。 ・各地区で検討していた課題等について、地域の方へ向けた生活支援体制づくりへの理解をしてもらえるような働きかけを行っていきたい。 |